

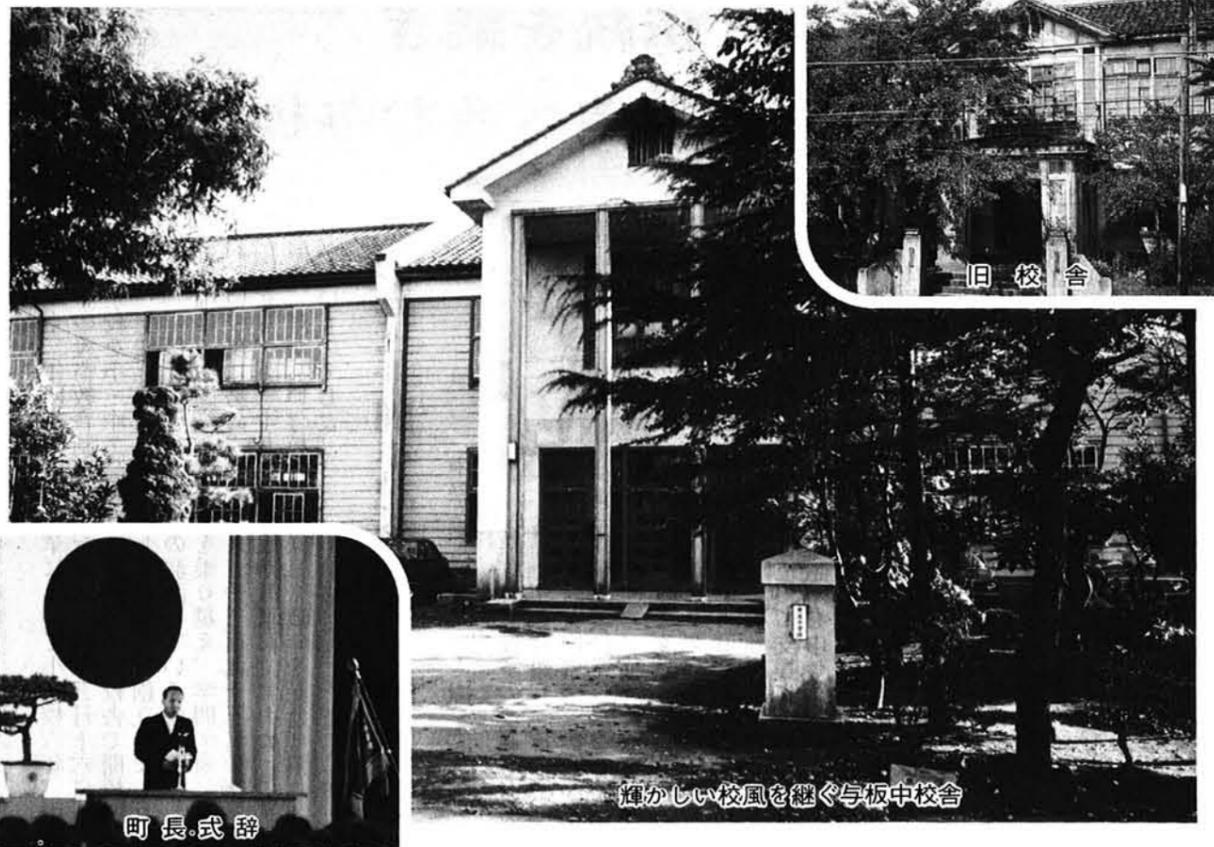


よいた

No.137 11月号

町だより 町長 平沢甚九郎書

昭和52年11月10日 ■発行/与板町(代表者/与板町長平沢甚九郎) ■編集 与板町だより編集委員会



11月は別称「霜月」、冬への準備の時期……

落葉が日ごとに数を増して、竹ぼうきを持つ手に風が冷たく感じられるこのごろです。まだ周囲の自然は秋の気配が濃いのに、日中の日ざしは弱まり、日の暮れが早くなりました。

7日は立冬。暦の上で冬が立てば、もう寒さはかけ足でやってきます。文化の日が終われば、そろそろ冬への準備が必要です。

— 人口の動き —

10月30日現在
()は9月末との比較

人口	7,825人 (+4人)
男	3,803人 (±0人)
女	4,022人 (+4人)
世帯	1,788 (+1)
出生	15人
死亡	5人
転入	19人
転出	25人

- おもな内容は
- 与板中学校創立 三十周年……………2
 - 与板町献血友の会が受彰 錦鯉品評会の成績……………3
 - 全国秋の火災予防運動……………4
 - 飲酒運転を追放しよう……………5
 - おとしよりの交通安全……………5
 - 社教からのたより……………6
 - 文化祭カメラスケッチ……………7
 - 町のスポーツたより……………7
 - 少年少女球技大会結果……………8
 - 心配ごと相談所とは……………9
 - ねずみ一斉駆除運動……………9
 - ごみ・危険物の搬出は……………9
 - 税金あれこれ……………9
 - 保健衛生だより……………10
 - お知らせ……………10

保健衛生だより

- 11月16日 13時30分から15時
乳児検診 母子センター
対象者 一般
- 12月2日 13時30分から14時30分
生ワク投与 母子センター
対象者 第1回目 S.52.1.1~S.52.5.31迄出生児
第2回目 S.51.6.1~S.51.12.31迄出生児
- 12月5日 13時30分から15時
乳児検診 母子センター
対象者 S.52.8.1~S.52.11.30迄出生児
- 12月6日 13時30分から15時
母親学級(前期) 母子センター
- 12月14日 13時30分から14時30分
二種混合 第2期 母子センター
対象者 S.49.6.1~S.49.9.30迄出生児

福祉手当受給者の方へ
福祉手当の十二月支給分について、繰上げ支給を希望された方に限り、十一月十日に支給致します。
該当者は印鑑持参の上、役場住民課でお受取りください。

停電のお知らせ
作業のため、次により停電いたします。
十一月二十五日(金)
八時から正午まで



老人居室整備資金の貸付
老人福祉の増進を目的として、六十才以上の高令者と同居する世帯に対して、高令者の専用居室を増築又は、改装するために必要経費の貸付を、昭和五十三年

- ・ 広野地区
- ・ 十三時から十六時まで
- ・ 葛都地区
- ・ 十二月五日(月)
- ・ 十時から十四時三十分
- ・ 塩の入・本与板・稲荷
- ・ 町・五軒町・下横丁・北新町・中川岸・南新町・下丁・長丁・泉丁
- ・ 馬場丁・堂前・中島・中町・船戸・安永・上町・横町・蔵小路・堤下・柳の町・倉谷地区(東北電力より)

年度より実施する計画です。この資金は、下記の要領で貸付する予定です。

- 一、貸付額 事業費の七五% (但し、最高限度額八十万円)
- 二、貸付利率 年四%前後
- 三、償還方法 元利均等月賦償還(十ヶ年以内)
- 四、保証人連帯保証人二名

貸付対象者は、世帯の生計中心者及びその配偶者に所得税が課せられていない世帯とする。

尚、詳細は、役場住民課(福祉係)にご照会下さい。希望者は、十二月二十四日まで、役場住民課へお申し出下さい。期日まで、申し出のない場合には、借入希望ないものとして処理させていただきます。

創立30周年

与板中学校

輝かしい校風と伝統を継ぎ 未来の創造へ進む与板中学校

秋晴れの十月十六日、与板中学校創立三十周年記念式典が中学校で開かれました。昭和二十二年四月、学制改革によって小学校六年、中学校三年の義務教育制度が施行され、同年五月十六日、与板小学校を小・中・高等女学校併用の仮校舎で開校式を挙げ、生徒三百六十一名、七学級編成で創立しました。敗戦二年目という社会状況の混乱している中、誕生した与板中はこの間幾多の変遷を乗り越え、学問の府にふさわしい校風に努め、開校以来五千三百九十三名の卒業生が巣立ち、百三十九名の先生が教壇に立たれた。この式典は、輝かしい与板中の創立三十周年を記念するにふさわしいものでした。

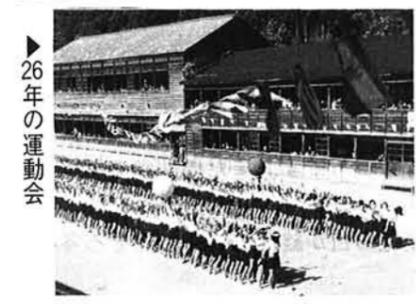
創立三十周年記念式典を終えて

中学校長 五十嵐俊英



▲校長先生のあいさつ

去る十月十六日、町当局の主催で議会議員、町内委員長、歴代の校長および教職員、PTA・後援会・同窓会関係の約百五十名の来賓の参列を得て、与板中学校創立三十周年記念式典を盛大に挙げていただきました。私たちが職員生徒一同深い感激を覚えております。戦後、学制改革のポープとして、平和と民主主義を基調とする文化国家建設のため、義務教育総仕上げの学校として誕生した与板中



▶26年の運動会

学校も、幾多の変遷辛苦の三十年を経過し、その制度の定着と内容の充実で漸く成熟の域に達したことになるわけで、感慨新たなものがあります。ここまでは与板中学校を育てて発展させた先人の粒々辛苦の熱意と努力、町民各位のご支援に改めて敬意と感謝を申し上げると共に私たちの責任の重さを痛感しているところです。三十周年記念誌「たちばな」はそのような意味で編集した次第です。



◀40年 給食はじまる

私たちが、このような中学生の教育に責任を負わされているわけですが、まさに任重く道遠しの感があります。また、これは、学校だけでできるものではありません。広く地域社会、町民各位のご理解とご協力を願いながら、一歩一歩進めてまいりたいと念じております。

最後に、今回の本校創立三十周年記念式典ならびに事業の実施に当たり、格段のご厚志とご協力を賜りました町当局、町民各位に重ねてお礼申し上げます。

三十周年にあたって

生徒会副会長 岡村京子

今年、与板中学校は創立三十周年を迎えました。町の主催で、十月十六日に、たくさんの方々がみえられて、記念式典が行われました。

私達生徒にとっては、このように盛大な式典は、小学校の百周年など、かなり経験してきましたが、今回の式典は、また別な「厳粛さ」を感じました。それはやはり中学生と小学生という年の差からくるものなのか、も知れませんが……。

しかし、そんな「厳粛さ」の中には、なごやかさも感じました。それは、私一人ではなかったように思えます。

式の内容は、「君が代斉唱」「前校長先生のお話」「平沢町長のお話」「駒形杯の贈呈」「祝電ひろく」「校歌斉唱」……。などですが、特に印象に残った点が二点あります。

一つは、式辞、祝辞を述べる方々がそれぞれ異句同音に、創立当初の、物質難の頃の苦境を述べられたという事です。

当時のことについては、私達生徒は、想像しきれませんが、校舎もない、文具もない、教育の方針などもままならない、そんな逆境の中で、先輩、又当時



▲生徒代表のこぼ

さきにも言いました、式典の「なごやかさ」というのは、そんなところから、又知っている先生方がいらしたかというところから感じました。いえ、それだけではないと思います。

もう一点、第三代の遠山校長先生が歌われた「旧制第一高等学校校歌」が、たいへん印象に残りました。自分でも、なぜなのか、ということ、はつきりとはわからないのですが……。

泳ぐ宝石の祭典

錦鯉品評会開かれる



- 第十一回与板町錦鯉品評会が、十月十六日、与板町役場前で開かれ生産者自慢の錦鯉百五十点が出品された。
- 泳ぐ宝石の美を競いました。
- 優勝者は次のとおり (敬称略)
- 総合優勝 紅白 吉岡 淳二
 - 第一部優勝 紅白 笠原 和雄
 - 第二部 紅白 山田 七次
 - 第三部優勝 紅白 吉岡孝太郎
 - 第四部優勝 紅白 山田 和男
 - 第五部優勝 紅白 笠原 和雄

『献血友の会』に感謝状を

去る十月二十日新潟県民会館に於て、日頃献血運動に對し、会員の皆さんから協力していただいた功績で新潟県知事より「与板町献血友の会」に感謝状が授与されました。

また、与板町献血友の会では、十五回以上の協力者に感謝状を贈呈致しました。

(敬称略順不同)

三芳栄作
以上十三名。
今後皆さんの御協力を心よりお願い申し上げます。

- 安達正広 名塚忠夫
- 小林忠司 小林ハル
- 岡本忠夫 大矢 昇
- 小林マサ 佐野清松
- 西沢 豊 山崎 勝
- 高野 稔 山田レイ



与板中学校30年の沿革

昭和22.	5. 16	与板町立与板中学校創立
23.	2. 20	校歌制定、校旗樹立
29.	9. 1	現在地に新校舎完成
30.	4. 4	町村合併により積原・山沢地区生徒編入
30.	8. 1	旧大都小学校4教室移築
31.	6. 1	体育館竣工
32.	7. 5	馬越合併、生徒編入
32.	7. 20	町営プール竣工
34.	2. 1	岩方合併、生徒編入
36.	4. 6	黒川中学校合併
36.	10. 30	南校舎6教室増築
38.	11. 28	技術室増築
42.	6. 16	創立20周年記念式典挙行
50.	4. 1	女子制服改正
52.	10. 16	創立30周年記念式典挙行

秋の全国火災予防運動

使う火を消すまで離すな目と心

11月26日から12月2日まで



朝晩の冷えこみが強くなり、寒さは日一日ときびしくなってきました。私たちの生活にとって、冬の暖房はなくてはならないものになっており、寒くなると、どこか家庭でも石油ストーブ、ガスストーブ、こたつなどの暖房器具が使用されます。それにもなつて、暖房器具が原因の火災が増えています。

昭和五十一年版消防白書によると、五十一年の暖房器具による火災では、ストーブによるものが最も多く、二、四九七件、ついでこたつによるものが七六一件、などとなっています。

また、毎年一・二月は、暖房器具の取扱に不注意による火災で犠牲者が多くなっています。

暖房器具には、その器具

- に応じた正しい使い方がありません。危険のないよう使用しましょう。
- 暖房器具の正しい使い方 八カ条**
- ① 出入口、通路、階段下など通行の邪魔になる場所では、使用しない。
 - ② カーテン、障子、ふすまなど燃えやすいものの近くや、燃えやすいものが落下するおそれのある場所では、使用しない。
 - ③ 幼児のいる家庭では、ストーブの周囲にこいをするなど、暖房器具に直接手が触れないようにする。
 - ④ 故障したり、破損した器具は、使用しない。
 - ⑤ 可燃性のガスや蒸気が発生したり、たまるような場所では、使用しない。
 - ⑥ 器具の周囲を、いつもきちんと整理し、燃えやすいものは、近くに置かない。
 - ⑦ 器具の点検、整備をまめにする。
 - ⑧ 洗たくものなどの乾燥器代わりに、使わない。
- 石油ストーブの七つのポイント**
- ストーブによる火災の原因では、ストーブの周囲に燃えやすいものがあつた。消し忘れた。転倒させた。などが大半を占めています。石油ストーブを使うとき

- ① は、絶対に行わない。給油は、油量計を見ながら行い、こぼれないようにする。
 - ② 給油口のフタはキッチンと閉めておく。
 - ③ こぼれた油は、必ずふきとる。
- かなしい「日本新」火災の犠牲者!**
- 空気乾燥しやすい冬から春先は、火災のシーズンです。火災を未然に防ぎ、犠牲者をなくしましょう。
- 老人と子ども 火災による死者の約半数はヤケドによるものです。酸欠、一酸化炭素中毒、新建材などの有毒ガスの恐ろしさも忘れてはなりません。**
- また、五歳未満の幼児と

- ④ 耐震自動消火装置を必ずセットして使用する。
 - ⑤ 点火は、油漏れがないことを確認してから行う。使用中のストーブを持ち運んだり、ゆすったりしない。
 - ⑥ 幼児やお年寄りだけを残して外出することはできません。幼児やお年寄りの安全な避難方法を考える。
 - ⑦ 幼児やお年寄りの安全な避難方法を考える。
- 六十歳以上のお年寄りでは、死者の約半数を占めています。そこで、幼児やお年寄りだけを残して外出することはできません。幼児やお年寄りの安全な避難方法を考える。

- 「低温出火」という言葉を、ご存知ですか。
- 木材に熱を加えると、ふつう四三〇度前後で発火します。ところが、後がたまりやすかったり、伝わりやすい場所などの条件が重なると、わずかに一〇〇度前後の低温でも出火することがあります。
- つまり、とても火事になるなんて考えられない低い温度（一〇〇〜一八〇度）でも、ある一定の条件がそろい、とくに長時間加熱するとやがて熱分解を起こし、これに「低温発火」です。低温出火のおそれのある場所は……
- ① 煙突が貫通している壁あるいは屋根。
 - ② ガスコンロの底面やまわりの壁。
 - ③ スチームパイプの接触部分などがあり、温度が比較的低いといっても、長時間熱が加えられると危険です。出火の恐れのある場所には、断熱材を使うなどの細心の注意をしてください。

飲んだら乗るな!!

★飲酒運転を追放



飲酒運転の恐しさは誰もが知っています。しかし、いまだに平気で飲酒運転をする悪質なドライバーは多いのです。

今年も七月までに、飲酒運転が原因で六二五件（全国）の死亡事故が発生しています。

飲酒運転といえは、すぐ四輪車を連想しがちですがオートバイや自転車の飲酒運転も少なくありません。また、飲酒運転は都会よりも、地方のほうが目立っているようです。

・飲んだら運転しない。
・運転するときは飲まない、飲ませない。
・飲んだら運転させない。

という鉄則を守って、みんなが力を合わせて飲酒運転をなくしましょう。

科学警察研究所「飲酒運転」の実験

車の運転ができる二十人の人がそれぞれ三百ccの日本酒を飲み、七十五分後に六百メートルのコースを、時速三十キロで車を運転し

たらどうなるかというものです。

それによると、一周する時間が平常時にくらべて、九秒早い人がいれば、逆に十秒遅い人もいて、運転が不安定なことを示している。

また、反射神経では、信号が赤から青に変わると、アクセルを踏んで車を前進させるまで、〇・一〇・二秒遅くなった。アクセルからブレーキを踏むまで、〇・一〇・二秒遅くなっています。

標識板への注意力では、平常の時は見落していませんが、飲酒運転では二十人のうち六人が見落しています。信号に対する反応でも二十人中十五人が誤りをしています。

わずか三百ccのお酒でもこんな有様です。深酒をしたドライバーがどんな運転ぶりになるか、考えただけでもゾッとします。

これから寒さに向かってお酒を飲む機会が多くなります。お酒を飲んだら車の運転はやめましょう。

おとしよりの交通安全 (上)

県内の交通事故は交通安全対策の結果、件数、死者及び傷者ともに昨年同様に比較し大幅に減少しております。

ところが十月に入って老人の死亡事故が続発し、十日までに四人が死亡し、その結果、今年老人の死者は三六人ととなり、子供の死者三四人をオーバーしました。しかも、県内の全死者に占める割合は一・九・九パーセントと高率になりました。

これから日が早く暮れる時期を迎え、老人の夜間事故が増加するおそれがありますので充分注意して下さい。

次に注意していただきたい事項を申し上げます。

一、歩行中事故にあわないために

- 左側歩行は危険
- 車が後ろからくるので避ける余裕がない。
- 夜の歩行は特に危険
- 車から歩行者は案外見えにくいものである。
- 運転者も疲れやすい。
- 運転者に油断がある。
- 車もスピードを出している。

※夜間、歩行者から見えた距離(実験)

- 結果
- 黒っぽい服 二六米
 - グレーの服 三二米
 - 明るい色の服 三八米
 - 夜光反射材着装 一三六米
- 対策
- 歩道や歩行に十分な幅員を有する路側帯を利用する。
 - 道路の右端を歩く。(横に並んで歩かない)
 - 夜の外出はできるだけひかえる。
 - 黒っぽい服装はさける。
 - 歩いているときも通行車輛に気をつける。
 - 二、横断中事故にあわないために
 - 車の特性を身につける。
 - 車のスピードは早いこと
 - 車はすぐに止まれないこと
- 手順に従って横断する
- 安全に渡れる場所(横断歩道や見とおしのよい場所など)をさがす
 - 渡る前には必ず立ち止まる
 - 手をあげて横断の意思を運転者に伝える
 - 車、左も一度右を見ながら歩いていないか確かめる
 - 車が見えたら、かなり遠方でもやりすくすくらしいの心のゆとりをもつ
 - 安全を確かめたら、直角にさっさと渡る(途中でも右左に注意する)

ハンターの事故防止四力条

ハンターの事故防止四力条

- 秋は、ハンターにとって待ちかねた狩猟時期です。だが、その楽しみ反面、猟銃などによる事故が依然としてあつて絶えません。
- 楽しいスポーツの道具も操作を間違えると、たちまち凶器に早変わり。銃を取り扱うときは、細心の注意を払うことはいうまでもありませんが、念には念を入れてもういち度次の点に気をつけてください。
- ① 必要なときまで、弾を銃にこめないようにしましょう。
 - ② 人に銃口を向けられないようにしましょう。
 - ③ 引き金をひく前に、弾の飛ぶ方向に人がいないかよく確かめましょう。
 - ④ ふだんは、銃と弾を別々の場所に保管し、盗まれたり、紛失しないよう注意しましょう。

飲酒運転の恐しさは誰もが知っています。しかし、いまだに平気で飲酒運転をする悪質なドライバーは多いのです。

今年も七月までに、飲酒運転が原因で六二五件（全国）の死亡事故が発生しています。

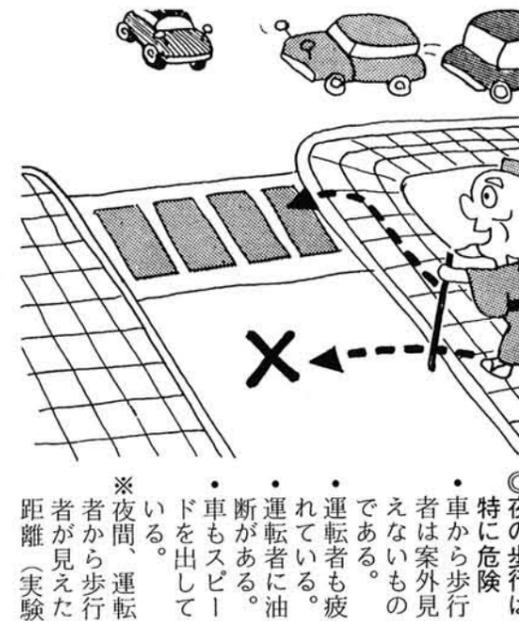
飲酒運転といえは、すぐ四輪車を連想しがちですがオートバイや自転車の飲酒運転も少なくありません。また、飲酒運転は都会よりも、地方のほうが目立っているようです。

・飲んだら運転しない。
・運転するときは飲まない、飲ませない。
・飲んだら運転させない。

という鉄則を守って、みんなが力を合わせて飲酒運転をなくしましょう。

科学警察研究所「飲酒運転」の実験

車の運転ができる二十人の人がそれぞれ三百ccの日本酒を飲み、七十五分後に六百メートルのコースを、時速三十キロで車を運転し





力作ぞろいの
児童・園児の
作品展

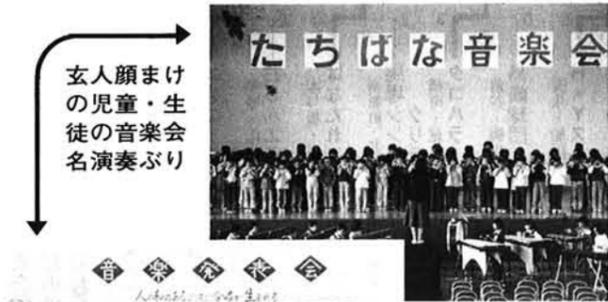


カメラ スケッチ

文化祭



▲ 文化祭の圧巻………
芸能発表会
(青年学級の芸劇)



女人顔まけ
の児童・生徒の音楽会
名演奏ぶり

たちはな音楽会



▲ 丹精こめて………
あざやかな菊花展



名カメラマンの秀作……
写真展



▲ 難問………?
たばこクイズ展も盛大

マイルドセブン ピラミッドクイズ 正解!

- ◎正解は681個です。抽せんの結果、次の方に決定しました。
- ◎正解賞 (敬称略)
当ノ浦 高橋 孝市
中 町 佐藤 一範
稲荷町 堀 紀子
原 井上 寅幸
横 原 五十嵐 泰三
- ◎近いで賞 (敬称略)
横 町 川上 三男
上 町 石丸 文子
東与板 八子 春雄
北新町 岩下 三平
安 堤 永下 昇
泉 丁 高木 シイ
中之島村 小林 ヨシ
佐藤 光明

町長杯 町民野球大会の 新潟日報社杯 優勝チームが決定

「信濃川河川敷野球場施設」の開設記念町民野球大会が去る十月九日、河川敷野球場(一部高校グラウンド)に於て、町長杯、日報社杯の争奪をかけた、澄みきった秋空の下、午前七時、平沢町長の開会宣言により熱戦を繰り広げた。

今大会には、二十五チーム三百余名の選手が参加して大会を盛り上げた。試合も随所に好・珍プレーが続出し、選手、応援団が一体となつて戦ったが、諸戦チームのまとまりと力の強いチームが勝ち残つて、有終

の美を飾り秋のスポーツの一日を有意義に過ごした。又、大会の運営については、野球協会員、朝野球連盟役員が協同して、その任に当り万遺憾なくその意を終了したことは、皆さんと共に敬意を表するものであります。

成績は、次の通り

優勝 模原チーム
準優勝 船戸チーム
三位 上町チーム
アパッチチーム

老人スポーツ大会開かれる!

十月八日、長岡市、三島古志郡の老人スポーツ大会が、与板小学校グラウンドで盛大に開かれました。当日は、あいにくの曇空で時おり雨がパラつく天候でありましたが、各市町村から五百余名の選手、応援団が参加され好プレーや珍プレーが続出し、スポーツの秋にふさわしい一日を楽しんでおられました。

成績は、次の通りです。

一位 出雲崎町チーム
二位 与板町チーム

三位 寺泊町チーム
四位 三島町チーム
五位 和島村チーム
六位 越路町チーム



十月九日、私達スポーツ教室一行四十名余は、土合のマチガ沢キャンプ場へハイキングに行つて来ました。谷川岳がすぐ近くに見える所です。向こうで味噌汁を作るので前日材料を買った。当日の朝方雨が降り、中止になるかと心配したが、だんだん良くなって青空も出て来た。長岡駅に集合、人員確認とあわただしく汽車にのる。目的地に発向うその間、約一時間四十分位車中のにぎやかなこ

野外スポーツ教室に参加して

片桐アヤ子

十月九日、私達スポーツ教室一行四十名余は、土合のマチガ沢キャンプ場へハイキングに行つて来ました。谷川岳がすぐ近くに見える所です。向こうで味噌汁を作るので前日材料を買った。当日の朝方雨が降り、中止になるかと心配したが、だんだん良くなって青空も出て来た。長岡駅に集合、人員確認とあわただしく汽車にのる。目的地に発向うその間、約一時間四十分位車中のにぎやかなこ



地域リーダー研修に参加して

私達黒川の人は、黒原・山沢の婦人の方々を始め、地域の指導者研修が十月二十一日、二日の両日、巻の県立青少年センターで行われました。研修生の大半が家庭の主婦で二日間の日程は大変きつくと、結婚式や法事で出席者も少なく二十三名の参加であつたがあの素晴らしい自然にかこまれた丘の上に着きたつて居るセンターに到着しました。研修では色々な事が頭に浮かんで居るのでしょうか、ねむれなかつたとか、やめようかと思つたとか、さまざま話声がきこえます。私も昨年、やはり心配やら不安でしたけれどもセンターに入り二日間の研修があつたと言つてしまつたこと、話を聞きました。心配のまゝセンターにきました。

オリエンテーションで研修所での生活や施設等の話を聞いて各自の部屋に入つたらやつとあの心配も笑顔に変わりました。部屋の中では黒原・山沢の婦人の方と活発な話し合い、グループ活動等もきかされておりました。笑いの中にたのしい夕食、広い食堂に全員集つてニコニコ顔、その後、夜のキャンドルサーブ、火の神様、四人の誓いの言葉、各自の持つ一本一本のローソクの炎が暗やみの中にもり私達の心と心をつなげて、それが一つの輪となつてもえつづけるあの静かな夜のひととき、お互い同志がげまし合い、誓ひ合つて明日への希望と新しいスタートをしっかりと胸にきざみ炎はやがて消えるとも心の炎はいつまでももえつ



づけて行くことでしよう。翌日は農村婦人の活動とその具体化の話、又同センターの荒木先生による「青少年をもつ親はどの様に彼等を理解して行つたらよいか」等のお話をきかせて頂き、その他ゲーム、ダンスみんな、ほがらかに二日間をすごさせていただき帰るのが惜しい気持ちで帰り支度の部屋の人達の着いた時のあの心配はどどこに行つてしまつたのか「もう二、三日研修したい」「ほんとうに良かったね」との声ばかりでした。

あのすみきつた雲一つない大空に三本の旗が誰に負けることなく元気一杯にひるがっている姿を思い出し、研修は一緒に行きたいものですね。

黒川地域婦人会 本田スイ

参加する前の説明を聞いた時、チョッピリ不安であつたが、小高いセンターからの蒲原平野の眺めはすばらしく、雄大な自然の姿を感じて思ひました。

この広い用地を耕しながら私達以上に苦楽を味わっている姿を身に感じ、私達も同じ農家の主婦として、農家だけしか味わえない努力が、言葉に言い表わすことができないものです。

この研修では、夕べのつどいから始まり、キャンドルサーブや楽しい集いの持ち方、フォークダンスなど久しぶりに童心にかえり、慣れないダンスを踊りながらも本心に喜び、楽しむことが出来ました。

講師の、農村婦人の地域活動とその具体化、急激な社会構造の変化と課題、生涯の各時期に於ける課題と対策、これから私達が一步一歩乗り越えて生活の中に活用しなければならぬ重大な問題」をわかりやすく教えていただきました。ありがとうございました。

明日からの家庭生活、グループ活動、社会生活の中に少しでも多く活用し、積極的な農村婦人の力を発揮し、住み良い地域づくりに励みたいと思ひます。

黒原・山沢地域婦人会 山田スイ

